

## 「医療・介護 連携シート」について（案）

### 「医療と介護 連携シート」について

#### 1 目的

病気や障害により要支援・要介護状態になっても住み慣れた地域で安心して在宅生活をおくるには、早期に相談・対応ができ、なおかつ関係機関の連携による一体的なサービス提供が求められている。連携を推進するための基本となる情報シートを作成し、このシートをきっかけとして関係機関の間で、活発で効果的な連携が図られ、適切な対応により本人・ご家族が安心して療養生活がおくれることをめざしている。

#### 2 作成の経緯

国では、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するための取組を推進している。その一環として、ICT（情報通信技術）を活用した医療・介護連携や連携パスの作成と活用等の取組が推奨されている。

練馬区においても平成25年度に「在宅療養推進協議会」を立ち上げ、医療、介護、介護家族代表者の方々とともに連携のありかたについて協議を進めている。

この「医療・介護 連携シート」は、医療・介護を必要とする本人の情報、関わる医療機関や介護サービス情報等を精査し、連携の入口のところで必要な情報が記載できるものとして検討中のものである。

#### 3 シートの概要

本人・ご家族を中心にした連絡を補完し、関係者が必要な情報共有を図るための基本となる本人情報、関係機関情報を記載する。

本人・ご家族による管理、運用を基本とし、お薬手帳等とともに携帯し、必要に応じて連絡メモを添付する、電話にて連絡するなど工夫し、状態を適切に必要な方に伝え、早期に相談・対応が図られるよう活用することを想定している。